

令和4年度 年間授業計画				
教科・科目	公民 政治・経済		単位数	2 単位
対象学年・組	3年生		履修	必修
教科書 (出版社)	政治・経済 (実教出版社)		副教材等	ウィニングコンパス (とうほう)
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業後に必要な政治・経済の基礎的・基本的知識を獲得し、自ら考える力を高める。 ・自分の生活の身近な話題に関心を持てるよう、新聞等を活用できる能力を身に付ける。 ・現代日本の諸課題について主体的に考察し、公正に判断し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。 			
学期	予定 時数	単元	学習内容	学習上の留意点
1	前半	民主政治の基本原理 日本国憲法の基本原理 日本の政治機構	①民主政治の成立 ②基本的人権の確立 ③現代の民主政治 ④世界の主な政治体制 ⑤日本国憲法の制定と基本原理 ⑥基本的人権の保障、平和主義 ⑦国会と立法、内閣と行政、裁判所と司法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のルールを守って学習する ★青年期に関する現代の諸課題について、考察する ★新聞等で話題になっている事柄についてどう思うかを問い、現代社会に関する思考力を高める。
	後半	日本の政治機構 現代政治の特質と課題 現代の国際政治	①地方自治 ②戦後政治と政党 ③選挙と政治意識、世論と政治参加 ④国際政治の特質、国際社会と国際法 ⑤国際連合の役割と課題 ⑥戦後国際関係の展開と日本 ⑦国際政治の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・板書及び説明、写真や図等を通じて、学習内容への学びを深める ★主権者として自分がどう政治と関わっていくかを考える。 ★近年の大学入試の傾向を説明し、受験にもつながるような思考を促す。
2	前半	現代の資本主義経済 現代経済のしくみ	①資本主義体制の成立 ②資本主義経済の発展と変容 ③経済主体と経済の循環 ④生産のしくみと企業 ⑤市場経済の機能と限界 ⑥国民所得と経済成長 ⑦金融の仕組みと機能 ⑧財政の仕組みと機能	<ul style="list-style-type: none"> ・板書および説明、写真や図などを通じて、学習内容への学びを深める ★経済の学習と自分たちとの関わっているのか、具体的な事柄から考察する
	後半	日本経済の発展と 産業構造の変化 福祉社会と日本経済 の課題 国民経済と国際経済	①経済再建から高度成長へ ②オイル・ショック後の日本経済 ③日本経済の現状、公害と環境保全 ④消費者問題、農業・食糧問題 ⑤中小企業の現状と課題 ⑥雇用と労働問題、社会保障と福祉 ⑦貿易と国際収支、国際経済体制の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者になることを目前に控えた存在として、労働にまつわる諸知識を身に付ける ★近年の雇用の問題を理解して、職業選択の意識を高める。 ★近年の大学入試の傾向を説明し、社会科の他科目での受験にもつながるような思考を促す。
3	18	日本社会の諸課題 国際社会の諸課題	①少子高齢化と社会保障 ②地域社会の活性化 ③若者の労働環境改善 ④中小企業の活路 ⑤日本の「食」と「農」 ⑥経済援助と貧困 ⑦地球社会と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出ることを目前に控えた存在として、現代社会の諸課題への理解を深める ・学校での学びを生かし、自己の社会生活の在り方を考察する ★話し合い活動を通じ、現代の諸課題に関する賛否を議論する
評価の観点 (評価基準)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な事項を理解しているか。 ・ワークシートや発表等で自分の考えを自分の言葉で人に伝えることが出来ているか。 ・授業への参加態度、発言など。 			
評価の方法	定期考査を中心に評価をする。 加えて、授業態度、提出物への取り組み、出席状況も考慮する。			
学習の手引き	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に対して「なぜなのか」「どうしてなのか」という疑問を持てるように、身近な題材を扱いながら、考えさせる学習を取り入れる。 ・学習全体を通して、自己の幸福と社会の幸福のバランスの在り方を考察させながら、自身が「いかにして生きるか」ということを考察できるよう工夫する。 			
授業担当者	横山 将太郎			